

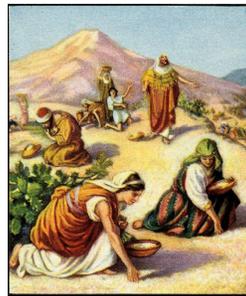


【WELCOME】「MANNA」 ようこそ！

3年ぶりに再開したマナですが、この紙面を通して、前週分の礼拝メッセージの要約（補足も含め）と信仰生活にとって役立つ様々な情報とを皆さんにお届けしようとしています。教会のウェブページにもマナを毎週アップしますのでそちらでもお読みいただけます。

ところで「マナ」とは何でしょうか。昔、イスラエル人達がエジプトでの奴隷生活から救済され、約束の地パレスチナまで旅する40年間、荒野で神によって与えられた食物がマナでした。毎晩天から雪のように降り、人々は朝、それらを集めては煮たり焼いたりして食べたのです。

この経験を通して神様はどのような時でも信頼できる方なのだ、ということを経験した。しかし、さらに重要なレッスンは、人がパン（この場合マナ）だけで生きるのではなく、神様の口から出る一つ一つの言葉によって生きる霊的な存在である、ということだったのです。このマナも皆様の霊的成長にお役に立つことをお祈りしています。



【元旦礼拝のメッセージより】主（神）と共に歩む

神は人に何を最も求めておられるか？それは人が「主（神）と共に歩む」ことである。これは人にとり、生涯忘れてはならない人生の目標である。神からの赦しは神からの一方的な恵みであり、決して人の努力によるものではないが、一旦、キリストを信じ、救われた者にとり、どうしても「努力」しなければならない事が出てくる。それは「他力本願」になること、つまり神に頼り頼み続けることなのである（箴言 3:5~6）。他力本願の方が、自力で頑張ることより簡単に聞こえるかも知れないが、実は逆に困難なのである。なぜか？それは罪深い私たちの本質が常に神を無視し、何でも神抜きにしようとするからである。その結果私たちは小さな自己中心的世界の奴隷となってしまうのである。神は、私たちに、私たちの思いをはるかに超えた「恵みの高き峰」を歩ませたいと願っておられる。それゆえ、神と共に歩むことの訓練を今年も積んでいきたい。

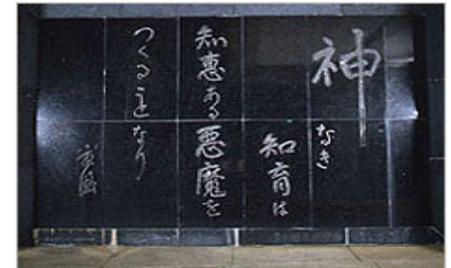
【1月19日のメッセージより】1ペテロ 2:1~12

「生ける石として霊の家に築き上げられる」というテーマであったが、最終的には、クリスチャン一人一人が「あなたがたは互いに愛し合いなさい」という主イエスの命令に従うことから全てが始まることを覚えてほしい。一人一人個性があり、罪ゆえに歪んだところもあるが、主に削られ、整えられ、配置され、主の働きを全うする教会となって行きたい。

【子育てワンポイント】

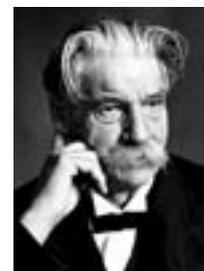
「神なき知育は知恵ある悪魔をつくることなり」

右の写真は東京町田市にある玉川大学工学部の校舎に刻み込まれた玉川学園創設者小原國芳の書である。キリスト者であった小原はその教育理念に「全人教育」を掲げ、教育において宗教教育が不可欠であることを様々な形で主張した。聖書には「**主（神）を恐れることは知識の初めである。愚か者は知恵と訓戒をさげすむ。**」（箴言 1:7）」とある。教育で最初にかけるべきボタンこそは、まさに天地創造の神を敬い、恐れることを子供の心に植え付けることであり、そこから初めて健全な精神が育つのである。一流大学一流企業出身者の犯罪等、神抜き教育の結果を私たちは既にいくらかでも見ている。リーマンショックも結局は人が見ていなければ何でもする「心の曲がった頭のいい」人たちの犯罪であった。幼い心に神を愛し、同時に畏れる心を育てることは何よりも大切なのである。



原典：イギリス軍人ウェリントン／Educate men without religion and make them but clever devils 宗教抜きに教育を行うなら利口な悪魔を作ってしまう

【今週の英語 Happiness について】



I don't know what your destiny will be, but one thing I know: the only ones among you who will be really happy are those who will have sought and found how to serve. Albert Schweitzer

あなたがたの具体的な将来については何も分からないが、一つだけ分かっていることがある。あなたがたのうち、真の喜びをすることができるようになる者は、人に仕えることを見出した者たちである。A.シュバイツァー博士